

<様式2>

山梨県畜産試験場試験・研究課題事前評価表

山梨県畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：豚の改良増殖

小課題名：新系統豚の造成

細目課題名：筋肉内脂肪量と筋線維密度が肉質と食味に及ぼす影響

担当者名：赤尾友雪

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	フジザクラポークの後継豚として消費者にアピールできる新商品の開発は有意義である。
2 課題の新規性、独創性	4 / 5	筋肉内脂肪量や筋線維密度を改良することは重要だが、同時に生産性が優れていることも必要である。
3 目的・内容の整合性、 妥当性	5 / 5	消費者の期待だけでなく生産者も利益を被るような行政的な取組も検討されたい。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	4 / 5	理化学的データに基づいた肉質改良手法、評価法に期待する。
5 成果の期待度	5 / 5	フジザクラの後継豚として、山梨県の特産としての新しい豚が造成されることを期待する。
総合評価	5 / 5	フジザクラの後継豚として造成される豚は、肉質に係わる遺伝的改良を目指しており高く評価できる。消費者だけでなく生産者の利益となるような銘柄豚を造成してほしい。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

造成中の新系統豚は、「おいしい豚肉の生産」を目的に、筋肉内に脂肪が入りやすいデュロック種と筋線維のキメが細かく保水性に優れるパークシャ一種を合成したもので、筋肉内脂肪量、筋線維密度等の理化学的データと食味試験に基づいた肉質の改良を重視しつつ強健性、発育性や体型の改良も進めている。

そこで、新系統豚を利用し生産される新銘柄肉豚は、肉質や発育性に優れ、さらに産肉性や体型においても市場で評価されるものを目指しており、生産者、流通業者、消費者それぞれが利益を共有できるものとしていきたい。